

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和4年第35週の発生動向

### □ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が10,845例あり、先週(16,755例)の約0.6倍となった。2022年の累積報告数は169,538例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

### □ 全数報告の感染症 (35週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。  
 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：日本紅斑熱 1 例。  
 5 類感染症：ジアルジア症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
		日南	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	女	—	水様性下痢、O103(VT型不明)
4類	日本紅斑熱	日南	60歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	ジアルジア症	日南	30歳代	男	—	なし
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、咳、全身倦怠感、意識障害、菌血症
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
30歳代			男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、眼症状、左視神経炎	

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は250人(定点当たり7.9)で、前週比107%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

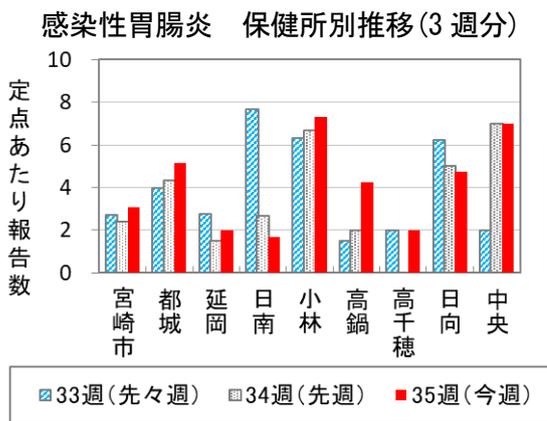
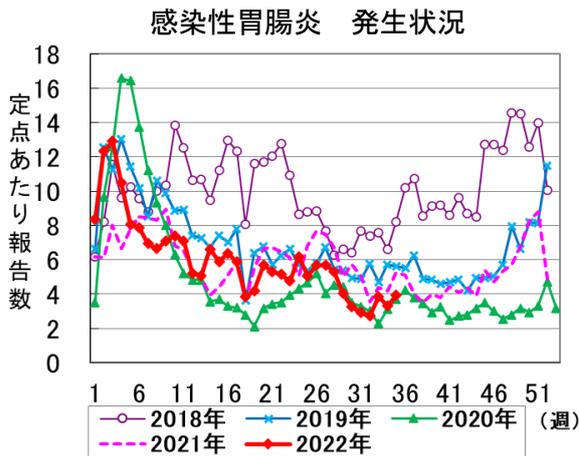
##### 【感染性胃腸炎】

報告数は142人(3.9)で、前週比119%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(5.9)の約0.7倍であった。小林(7.3)、中央(7.0)、都城(5.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から1歳が全体の約3割を占めた。

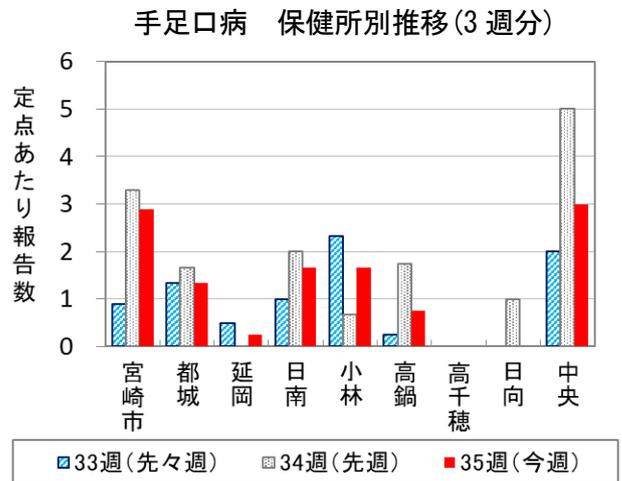
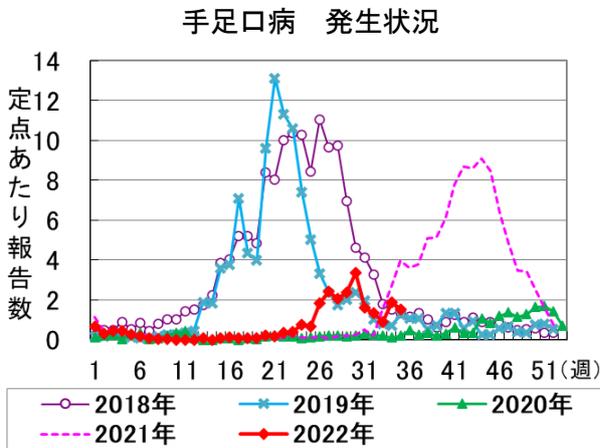
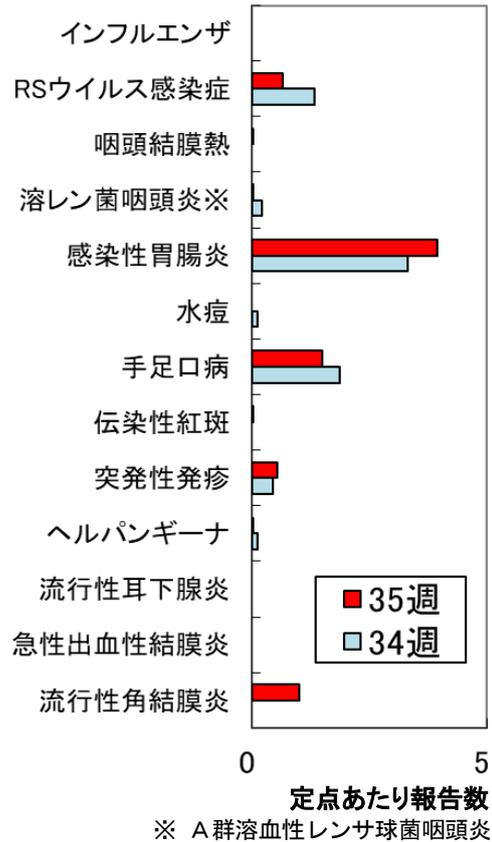
##### 【手足口病】

報告数は54人(1.5)で、前週比81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.7)の約0.9倍であった。中央(3.0)、宮崎市(2.9)、日南、小林(1.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



### 《前週との比較》



#### ★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：日南保健所より1例報告があり、年齢は10歳代であった。

#### ★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

## ✚ 全国 2022 年第 34 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	199 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	123 例	パラチフス	1 例	
4類感染症	E型肝炎	3 例	回帰熱	2 例	デング熱 1 例
	日本紅斑熱	7 例	マラリア	2 例	ライム病 1 例
	レジオネラ症	38 例	レプトスピラ症	2 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 23 例
	急性脳炎	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例	後天性免疫不全症候群 8 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	10 例	梅毒 196 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	2 例	麻しん 1 例

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 118%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は水痘であった。

手足口病の報告数は 10,397 人(3.3)で前週比 123%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.1)の約 1.6 倍であった。山形県(10.8)、宮城県(8.8)、北海道(7.1)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 2,465 人(0.79)で前週比 158%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.97)と約 0.8 倍であった。山形県(6.2)、北海道(2.3)、新潟県(1.5)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第35週(08月29日～09月04日)

疾病名	第34週	第35週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	48	24	5	1		2	13			3
感染症	定点当り	1.33	0.67	0.50	0.17	0.00	0.67	3.25	0.00	0.00	3.00
咽頭結膜熱	報告数 定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数 定点当り	0.22	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数 定点当り	3.31	3.94	3.10	5.17	2.00	7.33	4.25	2.00	4.75	7.00
水痘	報告数 定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数 定点当り	1.86	1.50	2.90	1.33	0.25	1.67	0.75	0.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数 定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数 定点当り	0.44	0.53	0.60	0.83	0.50	0.67	0.33	0.75	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数 定点当り	0.11	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	0.00	1.00	1.67	0.50	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

\*第34週の報告数に一部修正があります。

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～35週)

2類感染症	結核	79例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	37例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	日本紅斑熱	4例(1)	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例(1)	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	4例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	169538例(10845)		
			つつが虫病	7例
			レプトスピラ症	1例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	5例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
			ジアルジア症	1例(1)
			梅毒	59例(2)
			百日咳	11例

( )内は今週届出分、再掲